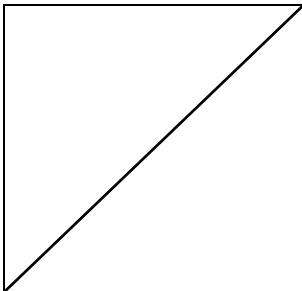


令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者氏名	小田 桃菜
---------	-------



当該業務における役割		担当技術者
所属企業	商号又は名称	技建開発株式会社
	住所	飯田市北方1313番地2

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 国補道路メンテナンス（トンネル）事業に伴う点検業務	発注機関	飯田建設事務所
業務箇所	県内一円 飯田管内一円 トンネル点検（3）		
最終契約額	2004万 2千円	業務概要	トンネル定期点検・診断 N=6本
契約期間	自 令和5年 11月9日 至 令和6年 6月28日		
主な取組	本業務では、人力と画像計測の差異を埋めるため帳票の作り込みを徹底し、点検精度と効率化を両立させた。外力判定システムで設計断面と点群を比較し変位を可視化することで、変状原因の把握精度を向上させた。また、能登地震の教訓から地すべり等の影響を受けやすい区間を特定し、維持管理の注意点として提案した。		

点検効率化のための取組み

■ 外力判定システムを用いたコンター図による変状範囲の可視化と、変形注意区間の抽出

点検用
変状
展開図

R05
変状
展開図

変形
コンター
展開図

路面
変形図

• S1～S14

• S1,14に発生しているひび割れは、新築コンクリートに起因する収縮ひび割れと考えられる。S4～14の剛壁主体の変位と天井に発生している曲げ上げによるひび割れと確診でまた変状は並行している中央構造物と考慮され、注意が必要である。地質資料及び施工資料が未だ揃っていないが、維持管理に必要な最低限の資料は、復元しておくべきと考える。

← : 想定外力

長野県CS地形図

地すべり地形図

地質平面図

図1 報告用点検シート例 上島トンネル

3D変形コンター図

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

優良技術者 氏名	北沢 淳史
-------------	-------



当該業務における役割	管理技術者	
所属 企業	商号又は名称	技建開発株式会社
	住所	飯田市北方1313番地2

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 国補道路メンテナンス（トンネル）事業に伴う点検業務	発注 機関	飯田建設事務所
業務箇所	県内一円 飯田管内一円トンネル点検（1）		
最終契約額	2161万5千円	業務 概要	道路トンネル定期点検・診断 N=7本
契約期間	自 令和5年11月9日 至 令和6年6月28日		
主な取組	現地の状況に即した新技術・新工法の提案 長野県道路トンネル点検マニュアル2025年改訂版で期待される計測・モニタリング技術の内、レーザ計測による手法の適用を試み問題点を抽出したり、直感的に変状区分を判断できる3D変形コンタ図を開発適用を提案、採用され活用している。		

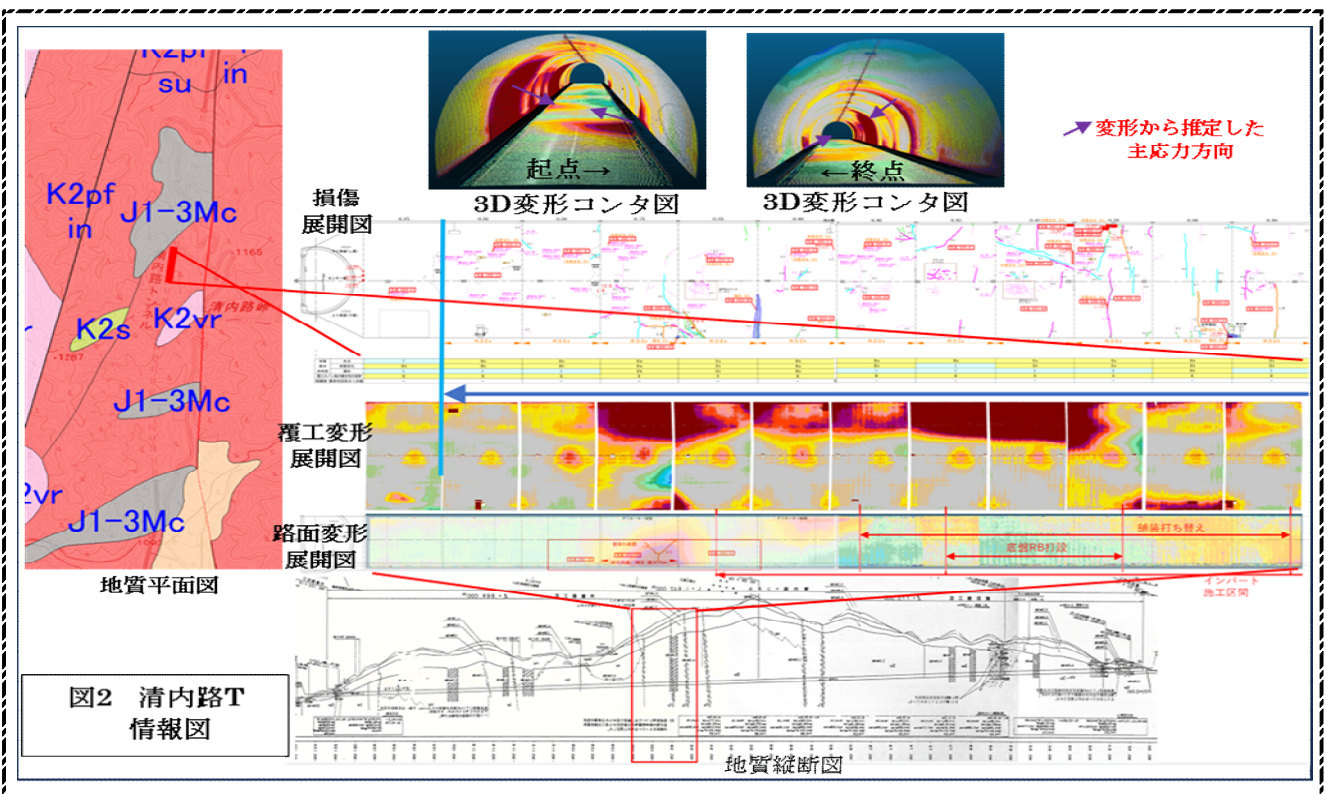


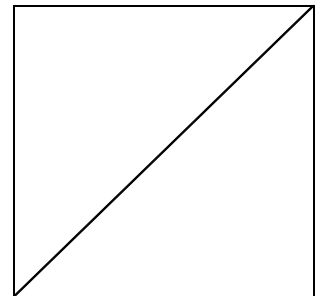
図2 清内路T
情報図

地質縦断面図

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者 氏名	宮脇 康弘
-------------	-------



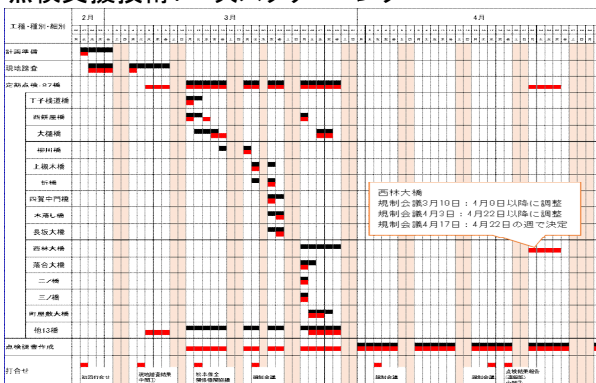
当該業務における役割		担当技術者
所属 企業	商号又は名称	技建開発株式会社
	住所	飯田市北方1313番地2

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 国補道路メンテナンス（橋梁）・県単道路橋梁維持（橋梁塗装）事業に伴う点検業務		発注 機関	諏訪建設事務所
業務箇所	県内一円 諏訪管内一円 橋梁点検			
最終契約額	2008万6千円	業務 概要	橋梁定期点検・診断 N=27橋 塗膜調査 N=2橋	
契約期間	自 令和6年2月27日 至 令和6年7月25日			
主な取組	本業務では27橋の定期点検と2橋の塗膜調査を実施した。担当技術者として、事前計画、NEXCO等との規制協議、安全管理を行い、損傷状況に応じて健全度を判定した。判定の見直しや補修案の提案を行った。また、点検性能カタログ掲載技術を提案・活用することで、点検精度および品質の向上に務めた。			



点検支援技術：一次スクリーニング

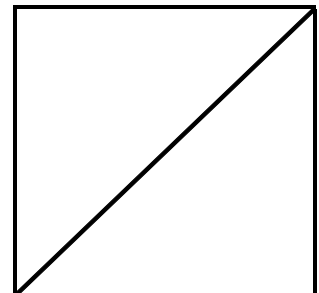


業務管理スケジュール表

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

優良技術者 氏名	
-------------	--

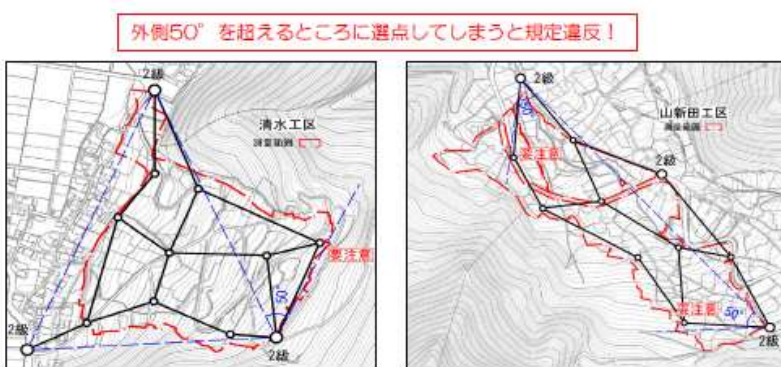


当該業務における役割	主任技術者	
所属 企業	商号又は名称	株式会社 協同測量社
	住所	長野市大字安茂里671番地

【対象となった委託業務】

業務名	令和6年度 経営体育成基盤整備事業 綿内東町地区 確定測量業務	発注 機関	長野県長野地域振興局
業務箇所	長野市若穂綿内		
最終契約額	1774万3千円	業務 概要	経営体育成基盤整備事業の一環として、区画整理された農地の換地業務に資するための確定測量作業 ・ 3級基準点測量 17点 ・ 4級基準点測量 105点 ・ 確定測量 23.56ha
契約期間	自 令和6年7月23日 至 令和7年3月10日		
主な取組	国土調査法第19条5項申請に必要な測量精度を確保するため地形状況に応じた基準点の配点・観測計画を立案し、測量精度の向上に努めた。調査区域内は、同時進行している事業が多く、各関係機関や地元実行委員会とも情報を共有し、事業が円滑に滞りなく進捗するための協議及び調整を行った。		

◎ 3級基準点測量



可能な限り樹木などの障害物避け、測量精度を高めるため、上空視界を確保するよう努めました。

既設の2級基準点観測状況
通常の三脚では障害物を避けられないため、GNSSスカイレッグ（長脚）を使用し、GNSS衛星の配置や衛星数及びDOP値の最も安定している時間に観測を行いました。



山林が近接しており、GNSS衛星の飛来情報を詳細に確認し、観測時間もピンポイントで測量作業を実施した。

◎ 一筆地測量

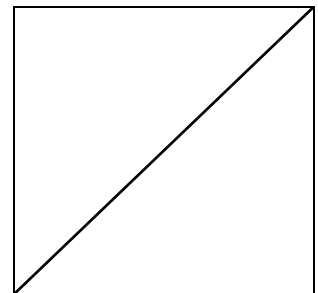


通常の確定測量と異なり、土地利用も開始されていたため、各関係機関に中間成果を提出する等、柔軟な対応に努めた。

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

優良技術者 氏名	
-------------	--

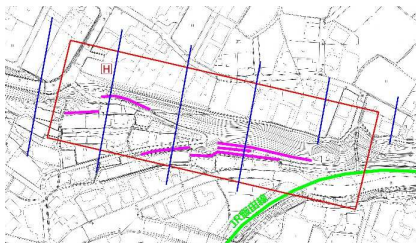


当該業務における役割		主任技術者
所属 企業	商号又は名称	株式会社 協同測量社
	住所	長野市大字安茂里671番地

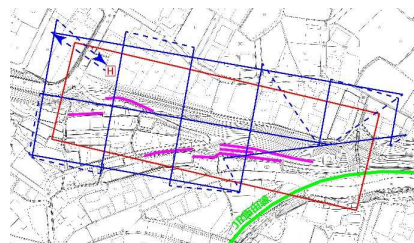
【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 交付金（総流防）急傾斜地崩壊対策（加速化）事業に伴う測量業務	発注 機関	飯田建設事務所
業務箇所	（急）羽場 飯田市 羽場		
最終契約額	518万1千円	業務 概要	測量業務 ・ 基準点測量 3級：3点、4級：14点 ・ 数値地形測量（UAVレーザ測量） A=0.02km ² ・ 路線測量（中心線測量、横断測量） L=0.23km ・ 用地測量（公図等転写連続図作成） A=2万m ²
契約期間	自 令和6年 3月 14日 至 令和6年 10月 25日		
主な取組	①UAVレーザ計測において、傾斜地と既設の擁壁工を十分に計測するための計測コース方向が異なるため、計測コースをクロスさせた。②UAV飛行困難箇所は地上レーザスキャナすることで、関係機関との協議を省略し、スムーズに業務を行った。③今後の業務を見越して必要と思われる地物や構造物の形状を現地で計測、地形モデルに反映させて、より正確な横断面図を迅速に作成した。		

○UAVレーザ計測の策定

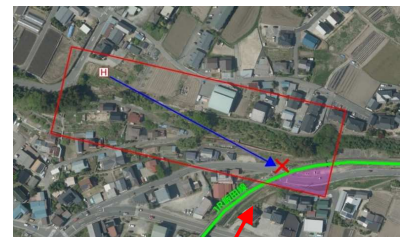


傾斜地での当社通常計測コース



擁壁工を考慮した実施計測コース

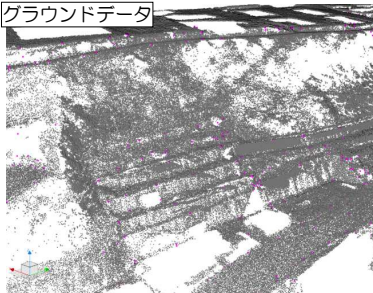
○UAV飛行困難箇所の計測



現場内にJRが通っている。
上空飛行のための協議に時間を要する。
地上レーザスキャナにより計測。

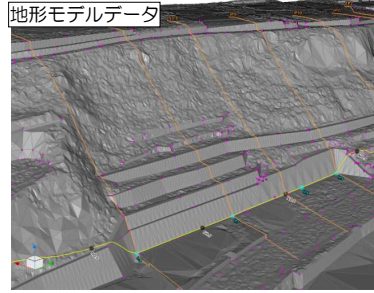
○今後の業務を見越した地形モデル作成

グラウンドデータ



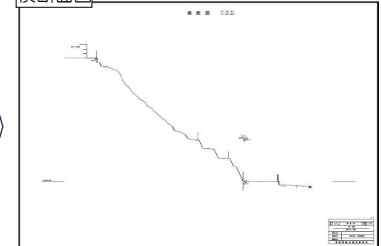
・ 補備測量計測点

地形モデルデータ



・ 補備測量計測点 横断測

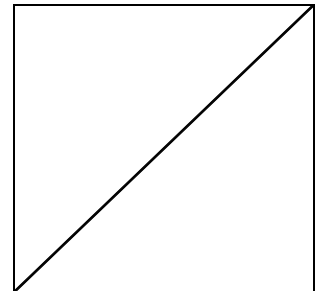
横断面図



令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者 氏名	
-------------	--



当該業務における役割		担当技術者
所属 企業	商号又は名称	株式会社 協同測量社
	住所	長野市大字安茂里671番地

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 防災・安全交付金 総合流域防災（加速化）事業に伴う水害リスクマップ作成業務	発注 機関	上田建設事務所
業務箇所	上田管内一円 管内一円（矢出沢川ほか4河川）		
最終契約額	4,261万4千円	業務 概要	洪水浸水想定区域図作成 （多段階の浸水想定図および水害リスクマップの作成） ・依田川流域（矢の沢川含む） 1式 ・矢出沢川流域 1式
契約期間	自 令和6年5月15日 至 令和7年3月17日		
主な取組	上田市内を流れる一級河川5河川の「多段階の浸水想定図」および「水害リスクマップ」作成業務 ①既往の解析モデルや解析モデルの設定条件等を確認し、本業務の追加作業等を提案 ②河道断面の取得・流下能力評価の精度向上 ③「圏域」による解析・外力設定方法の課題抽出と提案		

① 既往の解析モデルや解析モデルの設定条件等を確認し、本業務の追加作業等を提案

表 対象河川（当初）の解析条件

河川名	氾濫解析の主な条件		
	氾濫解析モデル	計算メッシュサイズ	河道モデル
依田川	第4版	10m	有り
矢の沢川（下流）	第4版	10m	有り
矢の沢川（上流）	簡易型	5m	無し
深山沢川	簡易型	5m	無し
矢出沢川	簡易型	5m	無し
黄金沢川	簡易型	5m	無し

表 対象河川（当初）で、既往業務で解析されている降雨規模

河川名	L2	L1	W=1/100	W=1/50	W=1/30	W=1/10
依田川	○	○	○	○	○	○
矢の沢川（下流）	○	○	○	○	○	○
矢の沢川（上流）	○					
深山沢川	○					
矢出沢川	○					
黄金沢川	○					

河川ごとに解析条件が異なる

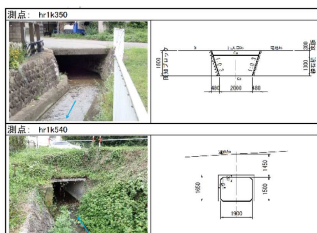
② 河道断面の取得・流下能力評価の精度向上

- 航空レーザ測量成果による点群データを使用した断面取得



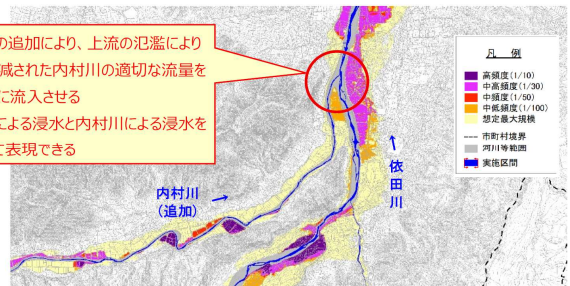
図 点群データを利用した断面取得結果（矢出沢川 1k700 の例）

- 現地計測による断面取得



③ 「圏域」による解析・外力設定方法の課題抽出と提案

・内村川の追加により、上流の氾濫により流量低減された内村川の適切な流量を依田川に流入させる
・依田川による浸水と内村川による浸水を合わせて表現できる



- 流域の一級河川の追加提案
- 浸水範囲・浸水深と支川流入量の精度向上
- 流域全体の氾濫リスク把握のための圏域解析

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

優良技術者 氏名	藤村 忠志
-------------	-------



当該業務における役割		管理技術者
所属 企業	商号又は名称	株式会社 KRC
	住所	長野市稲里町中央3-33-23

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 県単公園事業に伴う陸上競技場維持管理運営計画策定業務	発注 機関	長野県松本建設事務所
業務箇所	松本平広域公園 松本市 今井 (3)		
最終契約額	2251万 7千円	業務 概要	競技スポーツゾーン 維持管理運営計画策定 一式
契約期間	自 令和5年9月9日 至 令和7年1月31日		
主な取組	整備工事段階の陸上競技場を含む約20haを対象とした維持管理運営計画策定であったため、設計情報把握と過去の運営条件の分析に力点を置き、その成果を活かし、繁閑と複雑な動線に留意した入退場管理計画を図式に示し、運営の目標像を明確にした。あわせて、現地確認等も含む備品計画や維持管理運営計画、事例収集成果を踏まえた運営体制の立案に取り組んだ。		

調査・設計の品質向上における取組

- 計画の精度向上のための過去の運営データの分析
- 整備後の通年の繁閑を考慮した運営方式を図式に明示して目標像を明確化
- 並行で進む建築工事へのフィードバック
 - ・外周囲障施設に関する検証
 - ・備品調達計画立案時に諸室の出入りや窓の配置、作り付け什器の見直しの調整を提案等

県内唯一の第1種競技場

行催事一覧を作成し、ピーク利用の日の人数や発生頻度や繁閑の日数の傾向を把握

以下の運営条件に合わせて入退場管理図を作成

約25日 大規模大会
約40日 中小規模の大会
約300日 平時の運営 (練習のみ)

設計情報の検証と現地確認を通じた計画立案

備品計画

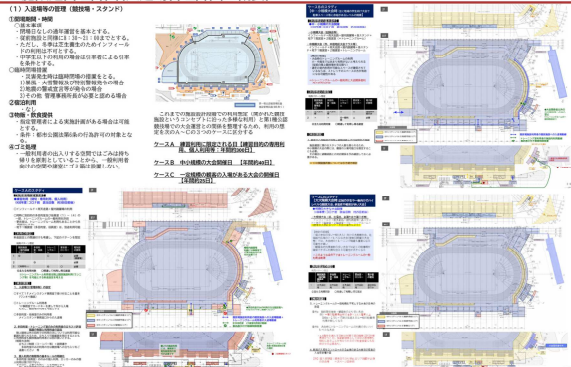
発注時の設計情報を運営面から検証と旧施設で使用されていた備品の現地確認を実施。現地に新設される空間に即した備品計画を立案。

施設運営・維持管理計画

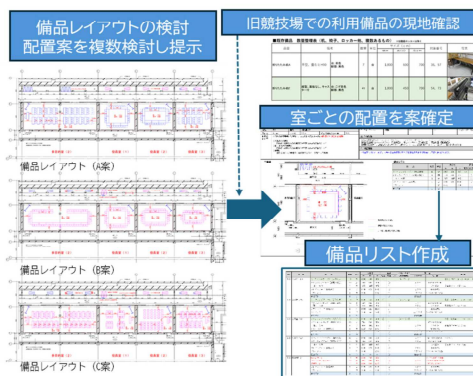
新施設整備に伴い新たに発生する特徴的な維持管理運営作業の抽出に留意。

- ・新競技場に併設のトレーニングセンターの運営・テニスコート等も含む夜間の動線管理や巡視ルートの設定
- ・入退場管理の煩雑さや夜間利用を考慮した交替制による人員配置案の検討 等

施設運営管理計画(入退場管理計画の概要)



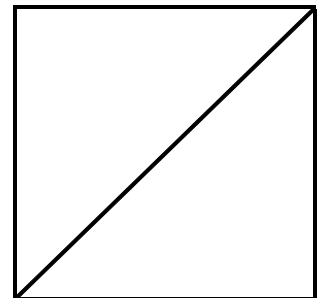
備品計画立案作業の流れ



令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

優良技術者 氏名	田中 一大
-------------	-------

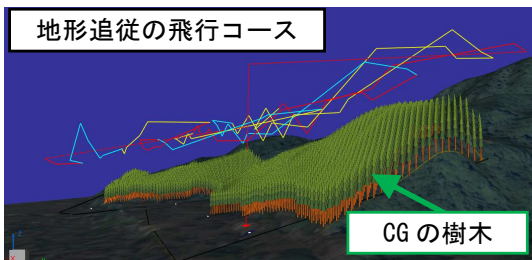


当該業務における役割		主任技術者
所属 企業	商号又は名称	株式会社こうそく
	住所	長野市青木島町大塚1113番地

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 交付金通常砂防（重）事業に伴う測量業務	発注 機関	長野建設事務所
業務箇所	（砂）太田沢 長野市 安茂里（1）		
最終契約額	1096万 7千円	業務 概要	3級基準点測量 4点 4級基準点測量 20点 UAVレーザ測量 0.084km ²
契約期間	自 令和 6年 2月14日 至 令和 6年 9月13日		
主な取組	①三次元地形及び樹木部のレーザ透過率を考慮した点密度推定による三次元点群の品質向上 ②複数の手法を組み合わせた計測及び高精度な三次元地形モデルの作成 ③三次元点群を基に作成した立体表現図を活用した現地調査、地形判読の効率化と品質向上		

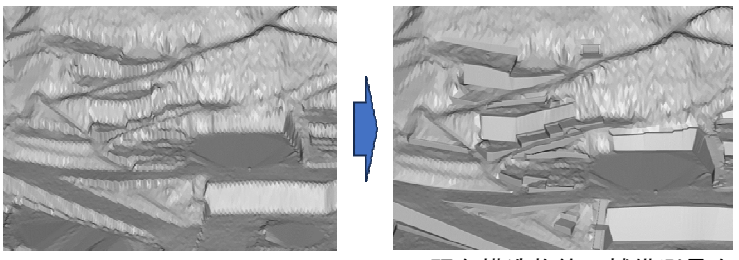
① 点密度の推定シミュレーション



地形追従の飛行コース

CGの樹木

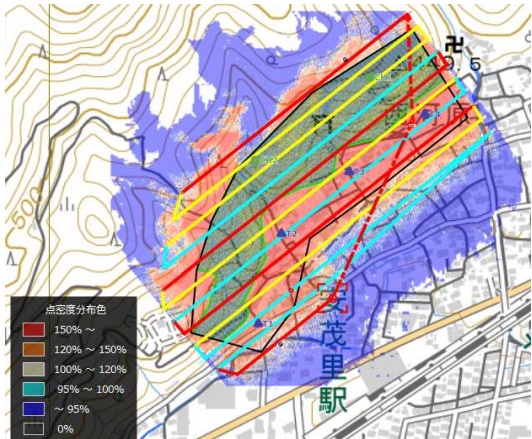
② 三次元地形モデルの作成



点群のみで作成した三次元地形モデル

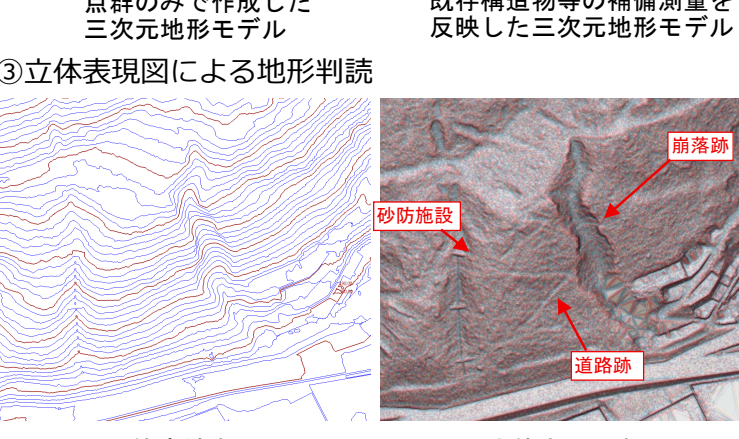
既存構造物等の補備測量を反映した三次元地形モデル

③ 立体表現図による地形判読



点密度分布色

- 150% ~
- 120% ~ 150%
- 100% ~ 120%
- 95% ~ 100%
- ~ 95%
- 0%



砂防施設

崩落跡

道路跡

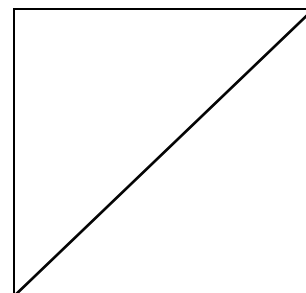
等高線表示

立体表現図表示

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者氏名	神野 郁美
---------	-------



当該業務における役割	担当技術者	
所属企業	商号又は名称	国土防災技術株式会社
	住所	長野市大字稲葉826番地1

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 交付金地すべり対策事業に伴う地質調査業務	発注機関	飯田建設事務所
業務箇所	(地) 陽阜 下伊那郡下條村 陽阜		
最終契約額	2,087万 8千円	業務概要	・地すべり調査 調査ボーリング N=4孔 $\Sigma L=53m$ ・地すべり観測 パイプ式歪計観測 N=10孔 自記式水位計観測 N=10孔 ・地すべり解析業務 一式 ・法面工予備設計 一式
契約期間	自 令和 6年 3月14日 至 令和 7年 3月21日		
主な取組	①対象となる複数ブロックに対し重要項目を把握し、効率的な調査を実施。視覚的にわかりやすい資料作成に注力し、調査精度向上に努めた。②点群データおよびボーリングデータを活用し、三次元データを作成。対策範囲の最適化と工費縮減を図った。③ブロック末端不安定岩塊の乾湿繰り返し試験の実施し、地盤特性を把握することで適切な工法選定と、長期安定性の確保に貢献した。		

①重要項目の把握と効率的な調査実行

調査目的

現地状況の説明と写真

懸念事項

提案事項

要点を抑えた簡潔な資料

③ブロック末端不安定岩塊の乾湿繰り返し試験の実施

露頭で確認された風化が進んだ砂岩泥岩互層

図 6 露岩とコア性状

調査孔コア状況

【試料1】 寄岩1	【試料2】 砂岩	【試料3】 泥岩2
初期状態	初期状態	初期状態
110℃研乾後	110℃研乾後	110℃研乾後
スレーキング指数 0	スレーキング指数 0	スレーキング指数 2

②点群データおよびボーリングデータを活用した地すべり検討

3次元表現によるすべり面

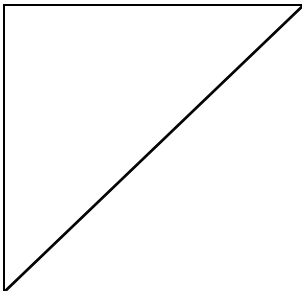
サーフェスから作成した横断面

図 5 作成した3次元のすべり面サーフェスと作成した任意の横断面

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者氏名	中村 泉美
---------	-------



当該業務における役割		担当技術者
所属企業	商号又は名称	国土防災技術株式会社
	住所	長野市大字稲葉826番地1

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 治山事業業務委託第2号（調査業務）		発注機関	上伊那地域振興局
業務箇所	伊那市 長谷 竜東地区			
最終契約額	2,783万 0千円	業務概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地すべり防止区域指定調査 51.9ha（土地登記簿等調査、公図等の転写、公図転写連続図作成） ・全体計画作成 1.5地区 	
契約期間	自 令和6年7月25日 至 令和7年3月17日			
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①地理情報記録アプリを活用し踏査⇒現場作業と並行して踏査図が作成され、業務の効率化 ②微地形表現図を利用し、地すべり地形を明瞭に⇒技術力の底上げ・調査品質の安定化 ③複数年の地形を比較した差分解析⇒地形変動の有無を可視化・判定結果の信頼性向上 ④地すべり発生機構と現地の地すべり現象を反映させた対策工法と調査項目の選定 			

**①地理情報記録アプリ活用
⇒現地踏査効率化**

16:52 4G 84%

標準地図 100%
SL3DMAP... 100%
contour 100%
object 100%

頭部沈下・末端隆起
⇒地すべり活動を示す

**②微地形表現図と差分解析
⇒調査精度の向上**

地すべり区域
崖急線
崖緩線
ガリ
庄跡、残積土

差分分析表 R2=+120
パンド1 (Grey)

沈下傾向だが幾何学的な規則性あり
一元データの精度のばらつきと判断

過去災害発生箇所
全体で沈下傾向あり

**③地形・地質を考慮した対策工・調査項目の選定
⇒詳細設計段階における技術的課題の抽出**

複数の線状凹地
・受盤構造の露頭
トッピング?

現地の凹地形

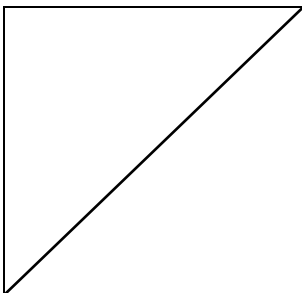
アンカー工
集水井工
ボーリング排水工

尾根を境界に地質状況が変化
→トッピングの発生が示唆
→地下水排除工+アンカー工

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【一般部門】

委託業務

優良技術者氏名	
---------	--



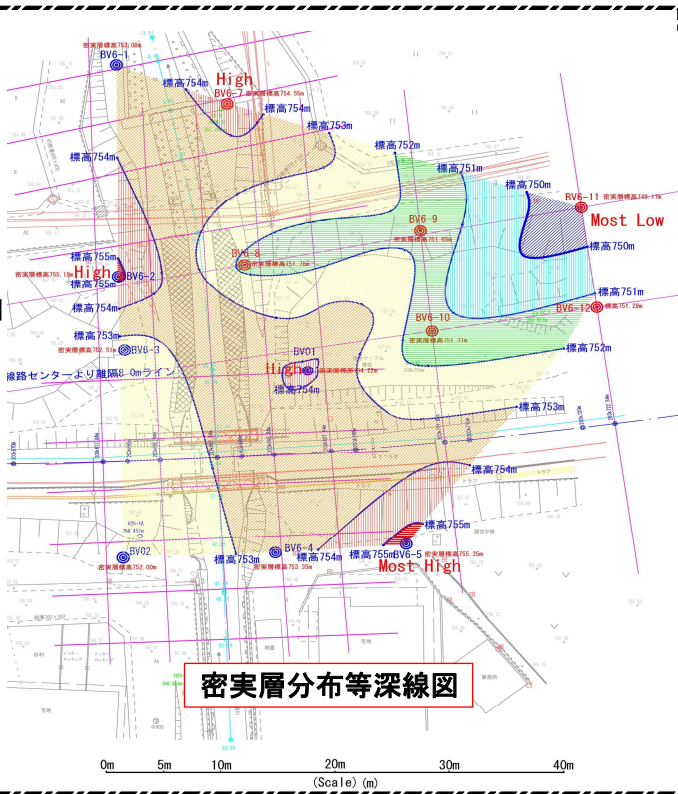
当該業務における役割	管理技術者	
所属企業	商号又は名称	株式会社 サクセン
	住所	長野県松本市双葉6-1

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度国補大規模特定河川事業に伴う地質調査業務	発注機関	長野県諏訪建設事務所
業務箇所	(一) 十四瀬川 岡谷市長地 (2)		
最終契約額	1733万6千円	業務概要	地質調査 調査ボーリング(φ66mm)L=117m 標準貫入試験n=117回 n=6孔 技術解析 既存資料の収集・資料整理とりまとめ・断面図等の作成・総合解析とりまとめ 各1業務
契約期間	自 令和6年9月6日 至 令和7年3月21日		
主な取組	十四瀬川全区間(源流から諏訪湖まで)の踏査を実施。現在の架橋位置が十四瀬川のどのような位置付けの箇所なのかを把握し、河川として優先させるべきことを明確にした。地質総合解析では、多数の断面の成果を理解しやすいように平面的に「密実層分布等深線図」を作成した。		

受注業者が2社あったので、県を含めた3者協議開催の提案を行った。そこで2社の調査孔の配置を、格子状に配するように提案し、現況把握をやすくした。他社データ・既存データも含めて全13孔のデータにより、東西・南北の断面図を9断面作成した。支持地盤(密実層)がどのような分布をしているのかを把握しやすくするために、「密実層分布等深線図(平面図)」を提案・作成した。断面図の深度データの整数標高(△□.00m)を平面図上に点としてプロットし、等標高点をスプライン曲線で結んで、等深線とした。これにより十四瀬川右岸の支持地盤は急激に低くなっていることがひとめで理解できた。何故こうした現象が起きているのかについては、本調査では検証できなかった。

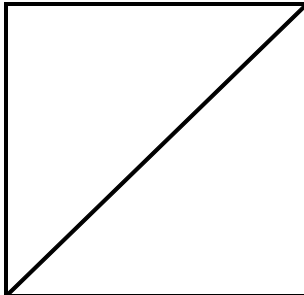
十四瀬川の上流河川のマトリックス(砂)を採取して分析を行った。河川により黒・褐等色に特徴があることが判明した。これに基づいて、調査地のボーリングコアのマトリックスを調べそれぞれの深度の堆積物がどの河川から主にもたらされたかについて検証することができた。



令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者 氏名	田畑 裕
-------------	------



当該業務における役割		管理技術者
所属 企業	商号又は名称	株式会社ゼンシン
	住所	駒ヶ根市上穂栄町13-7

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 交付金急傾斜地崩壊対策事業に伴う設計業務	発注 機関	伊那建設事務所
業務箇所	(急) 唐木沢 上伊那郡辰野町 唐木沢 (3)		
最終契約額	1228万7千円	業務 概要	擁壁・補強土予備設計、詳細設計 1箇所
契約期間	自 令和6年2月28日 至 令和7年3月21日		崩壊土砂防止柵詳細設計 1箇所 排水施設設計 1箇所 管理用道路設計 1箇所
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・3次元で検討を行い、図面作成、数量算出に活用することで作業効率化、品質確保に繋がった。 ・3次元地形データに公図を重ね、対策施設の配置計画に活用した。 ・円滑な合意形成と事業推進のため、地元説明会へ参加、住民要望に真摯に対応した。 		

切土、盛土の形状
工事用道路
対策施設(待受け擁壁)

排水施設
集水樹

対策施設の位置出しと現地での説明

施設位置をポールで位置出し

住民より山作業時の斜面への出入りの設置要望を受けたため、スロープを計画し、3次元で説明

斜面へ出入りする

横ボーリング工を計画し、住宅背後の湧水を適切に処理

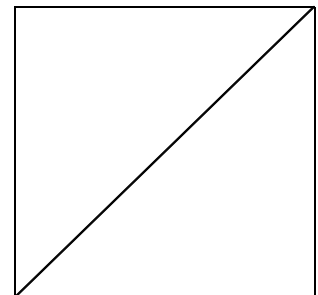
湧水発生箇所

現況地階線
既定地階線
既定地下水位線
横ボーリング工 1000 (ストレーナー施工) 掘削径φ 110.0mm、上向き

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者氏名	
---------	--



当該業務における役割	担当技術者
所属企業	総合地質コンサルタント株式会社
商号又は名称	長野市稲里町中氷鉤1085-7
住所	

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 交付金(総流防)急傾斜地崩壊対策(加速化)事業に伴う地質調査業務	発注機関	犀川砂防事務所
業務箇所	(急)高萩前 東筑摩郡筑北村 高萩前(2)		
最終契約額	895万4千円	業務概要	地質調査ボーリング N=5本 ΣL=56m 標準貫入試験 N=56回 簡易貫入試験 1式 解析等調査 1業務
契約期間	自 令和6年6月27日 至 令和7年2月21日		
主な取組	①業務着手直後に立体図を活用した広域な地形判読と地質踏査を行い、課題解決に向けて新たな調査計画を立案し業務の最適化を図った。②合同協議から設計思想を共有し、新たに簡易貫入試験を追加。立体的な視点から軟弱層分布域を推定し、そこに分布する既設構造物に対する留意点を指摘。③現地踏査、地元聞き取りなどの手法を用いて地下水状況を把握し、設計・施工上の留意点を指摘。		

調査地斜面を含む細尾沢川沿いの地形は上流側からの土石流堆積物の可能性が高いと推定した

写真① 調査地近傍斜面 砂礫を主体とする

写真② 安坂川左岸の露頭 砂質泥岩を確認

CS立体図：傾斜の勾配を色の濃淡で表現。傾斜が急な部分は色が濃く、傾斜が緩やかな部分は色が薄く表現

地形判読・地質踏査から基礎地質の出現は非常に深いと推定

図 推定地質断面図

調査地

推定層厚約20m (その後の調査で確認)

土石流堆積物

砂質泥岩

軟弱層分布域(想定)

一段低い平坦地は軟弱層が厚い

対象斜面

安坂川

No.1BV-3 No.2

ボーリングで確認した軟弱層

月夜

砂質泥岩

軟弱層(土石流堆積物)

土石流堆積物1

土石流堆積物2

土石流堆積物3

土石流堆積物4

砂質泥岩

家跡出水している電柱パイプ

(推定)地下水経路

断面が傾斜をとるの情報を得る

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者 氏名	安達 誠文
-------------	-------



当該業務における役割		担当技術者
所属 企業	商号又は名称	株式会社タイヨーエンジニア
	住所	長野県東御市滋野乙1302

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 防災・安全交付金(道路)事業に伴う調査業務	発注 機関	上田建設事務所
業務箇所	(国)143号 小県郡青木村 青木峠バイパス(4)		
最終契約額	685万3千円	業務 概要	交通影響調査 一式 ・交差点交通量調査(歩行者交通量含む) 6箇所 ・歩行者交通量調査 8箇所
契約期間	自 令和5年11月28日 至 令和6年 4月25日		
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者交通量調査の実施に際し、事前に沿線にある小中学校の通学路マップ、バス停利用者の情報収集等を行い、調査が必要となる地点を追加提案し、実態把握に務めた。 ・優先的に整備すべき歩道区間の検討に当たり、調査結果を1つの平面図に集約し、優先整備区間が容易にわかる工夫を行った。 		

【歩道幅員が広く、歩行者が少ない区間】

調査結果

歩道幅員・延長の計測状況

ドライブレコーダーを活用した機械観測

ドライブレコーダーの映像

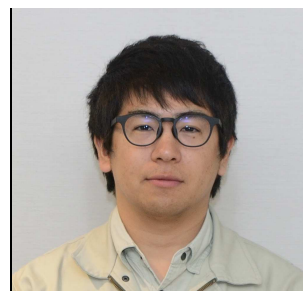
設置状況

【歩道幅員が狭く、最も歩行者が多い区間】

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者 氏名	中尾 碩孝
-------------	-------



当該業務における役割	担当技術者	
所属 企業	商号又は名称	株式会社タイヨーエンジニア
	住所	長野県東御市滋野乙1302

【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 交付金(総流防)急傾斜地崩壊対策事業に伴う環境調査業務	発注 機関	佐久建設事務所
業務箇所	(急)伊勢林 佐久市 新子田(2)		
最終契約額	434万5千円	業務 概要	植物調査一式 昆虫類調査一式 ホタル類(夜間)調査一式
契約期間	自 令和6年4月3日 至 令和6年9月30日		
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・工事箇所下部にあるビオトープに生息する貴重動植物について、観察適期を見極めたうえで詳細に調査した。 ・ビオトープ内の動植物や施設への影響を最小限とした施工手順を設定、提案した。 ・調査やヒアリングの結果をもとに、施工時の注意事項をまとめた資料を作成した。 		

工事箇所下部のビオトープ

【工事箇所断面図】

【資材等の搬出入路の設定】

【施工時の注意事項に関する資料の作成】

令和7年度 長野県優良技術者表彰 受賞者取組概要【若手部門】

委託業務

優良技術者 氏名	仲俣 創生
-------------	--------------

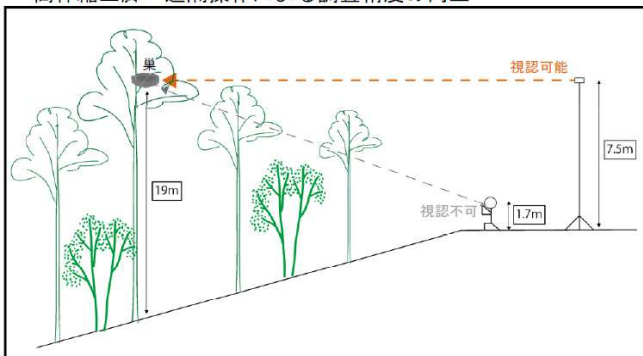


当該業務における役割		担当技術者
所属 企業	商号又は名称	株式会社タイヨーエンジニア
	住所	長野県東御市滋野乙1302

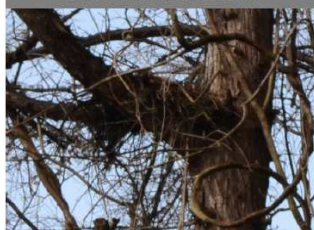
【対象となった委託業務】

業務名	令和5年度 防災・安全交付金（道路）事業に伴う調査業務	発注 機関	北信建設事務所
業務箇所	(一) 豊田中野線 中野市 笠倉～壁田		
最終契約額	1109万9千円	業務 概要	環境調査（鳥類） 一式 定点観測調査 10回（観測点3地点）
契約期間	自 令和6年3月14日 至 令和6年12月9日		
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地上19mの巣に対し高所三脚による遠隔撮影を導入し、詳細に繁殖状況を確認した。 ・過去16年間の調査結果を整理し、工事進捗と生態変化を時系列で詳細に分析した。 ・保全対策が繁殖成功率向上に寄与したことを客観視し、事業全体の最終評価を行った。 		

・高伸縮三脚×遠隔操作による調査精度の向上



従来手法（落葉期視点）



提案手法（高所視点）



巣の厚みが増している

落葉を待たず、営巣痕跡が鮮明な夏場に「真横」から詳細確認を実現

・過去16年間の継続調査：工事進捗と繁殖状況

